

平成 19 年度 宇宙教育シンポジウム東京会場 プログラム

日 時：平成 19(2007)年 6 月 8 日(金)10:00～18:00

場 所：東京ファッショントウン(セミナールーム C/シンポジウム・展示併催)

09:55-10:00 (5)	開会前挨拶(MC) 司会(MEXT 研究開発局 宇宙利用推進室 係長 伊藤史雄) (来場者への謝辞、一日の流れ、開催概要など。以降の進行も行う)
第 1 部 T37 10:00-12:00	
10:00-10:05 (5)	開会挨拶 文部科学省 大臣官房審議官 (研究開発局担当) 板谷 憲次 内容 TBD。
10:05-11:00 (55)	基調講演『宇宙』で子どもは元気になるか JAXA 宇宙教育センター長 的川 泰宣 宇宙教育センター 参与 平林 久 宇宙観測、地球観測、ロケット、宇宙飛行など、宇宙や宇宙活動の成果の中から、教育現場で実際に活用された素材・実例を紹介しながら、最近元気がないと言われている日本の子どもたちを元気にするために、「宇宙」が本当に役立つのかどうかを考え、検証する。
教育用素材紹介 ロケット・人工衛星・宇宙科学などの紹介やそれらの画像等、教育現場で活用できる宇宙の素材を紹介	
11:00-11:20 (20)	『ロケット編』 JAXA 宇宙教育センター長 的川 泰宣
11:20-11:40 (20)	『人工衛星編』 JAXA 宇宙利用推進本部 衛星利用推進センター 主任 石館和奈
11:40-12:00 (20)	『宇宙科学編』 JAXA 宇宙教育センター 参与 平林 久
12:00-13:00	休憩(パネル展示、映像放映、レイアウトチェンジ)
第 2 部 T38 13:00-15:00	
13:00-13:05 (5)	第 2 部 開始挨拶 司会(MEXT 研究開発局 宇宙利用推進室 係長 伊藤史雄) (第 2 部の概要説明、以降の進行も行う)
宇宙活動の成果利用による授業例の紹介	
13:05-13:35 (30)	『地球を回る科学の目～人工衛星で見る地球環境問題～』 MEXT 研究開発局 宇宙利用推進室 調査員 亀井雅敏
13:35-14:05 (30)	『地球の姿を写し出す観測技術～教室でできる宇宙実験～』 札幌市立柏丘中学校 山口正信
14:05-14:35 (30)	『「宇宙」x「食育」x「郷土」=どんな授業?～宇宙キッチン Kagoshima を例に～』 JAXA 宇宙教育センター 岸 詔子
14:35-15:00 (25)	『導入教材で変わる教室』 東京都昭島市立 福島中学校 下田治信
15:00-16:00	休憩(パネル展示、映像放映、レイアウトチェンジ)
第 3 部 T39 16:00-18:00	
16:00-16:05 (5)	第 3 部 開始挨拶 司会(MEXT 研究開発局 宇宙利用推進室 係長 伊藤史雄) (第 3 部の概要説明、以降の進行も行う)
15:55-18:00 (115)	パネルディスカッション『宇宙素材を教育現場で利用するためには』 コーディネータ:平林久(JAXA 宇宙教育センター 参与) パネリスト:千原由幸(MEXT 研究開発局 宇宙利用推進室長)、中村日出夫(品川区立荏原第一中学校校長・全中理顧問)、元村有希子(毎日新聞社 科学環境部 記者) 地球観測衛星画像などの宇宙の素材がどのようにすれば教育現場の先生方に使われるか、また、現状の宇宙教育の課題や、今後宇宙教育が目指すものについて、会場の参加者とともに考える (進め方は別紙参照方)
18:00	閉会挨拶 司会(MEXT 研究開発局 宇宙利用推進室 係長 伊藤史雄)